

美しい自然を守ろう

環境先進観光地—箱根

第53回美化大会

8月7日、箱根中学校屋内運動場で、自治会連合会、小・中・高等学校の児童・生徒、女性会、箱根みどりの少年団、町観光美化パトロール隊など約200人が参加し「環境先進観光地—箱根 第53回美化大会」が開催されました。

なお、この日を中心に町内の自治会をはじめ、各種団体の皆さんにより清掃作業も行われました。

「箱根を大切に美しくする」

貢献者表彰受賞者（敬称略）

◎箱根女性会

◎芦之湯自治会

◎箱根長寿会

◎佐藤武士（箱根）

◎勝保建吾（湯本茶屋）

◎瀬戸忠一（大平台）

◎安藤知往（大平台）

観光美化・自然愛護標語、作文

ポスターコンクール入賞者

日頃から観光美化に熱心に活動している方に感謝状が、また観光美化・自然愛護標語、作文、ポスターコンクールで1等に入賞した児童・生徒に賞状と記念品が町長から授与されました。そして、1等入賞者を代表して、標語の部から蒔田愛海さん（恵明学園小1年）、作文の部から本間千博さん（湯本小2年）と、辻村優貴さん（函嶺白百合学園中3年）が、作品を読み上げました。また、来賓の祝辞の他、箱根ライオンズクラブから町に対し、花いっぱい事業への寄付がありました。

46回目を迎えたコンクールに、町内の小・中学校7校から標語の部に43点、作文の部に533点、ポスターの部に456点の応募があり、表のとおり学年別の1等入賞者が決まりました。（8ページに掲載。敬称略）

箱根の地で学ぶ者として

函嶺白百合学園中学校3年

辻村優貴

私の学び舎は、自然豊かな箱根の地にある。温泉が湧き、風光明媚な箱根は、我が国無数の観光地である。常に観光客で賑わっており、海外からの旅行者も多く見かける。

そんな箱根に違い続けて九年目となる。今年も満開の桜に迎えられる新学期が始まった。今年度は中学最高学年の年。箱根の自然にエネルギーをもらい、色々な事に挑戦し、努力していきたいと気持ちを新たにしたい。新学期が始まって数日後、今年も思いもよらないことが起こった。雪が降ったのだ。それまですっかり暖かくなり、満開だった桜もさぞ驚いたことだろう。桜にはかわいそうだが、雪と桜というミスマッチな風景もまた趣が

あった。今まで長く箱根に通ってきたが、そのようなことは初めてで、これも異常気象の影響なのだろうか。

時の流れは本当に早い。それでもなお、箱根の景色は飽きを感じさせない。春、草木の息吹を感じ、花達が一齐に咲き出す季節。生命の力強さを感じる嬉しい季節である。そして学校の中庭に、色とりどりのあじさいが咲き始めると、夏の到来を感じる。緑が生い茂り、虫の活動が活発になると、改めて自然を身近に感じる事ができる。真っ青な空から太陽が照りつけているが、私の住んでいる小田原ほどの暑さは感じない。夏でも、教室には自然の心地よい風が吹きぬけ、冷房を必要としない。



標語の部
恵明学園小学校1年 蒔田愛海さん

ありがとうございます。
はこねのおもいで
おもちかえり、
ごみもいっしょに
おもちかえり。



提携にあり、レーティッシュ鉄道をイメージした車両が作られた。「アレグラ（ALLEGRA）」とは、スイスの希少言語であるロマンシ語のあいさつの言葉だそう。以前テレビでレーティッシュ鉄道が走る姿を見たが、非常に高い標高と急勾配の所を走っており、とても驚いた。周りの景色も壮大で美しく、こんな鉄道と姉妹提携を結べたことに誇りを感じた。レーティッシュ鉄道を模したアレグラ号は、今までの車両と比べ、窓が大幅に広がり、まるで森の木々が迫ってくるかのように、箱根の自然を身近に体感できる。海外からの観光客の方々の反応も良く、私たちまで喜びでいっぱいになった。観光客の方に大好評の登山電車であるが、人々が降りた後に、時にごみの存在が気になることがある。拾って捨てるということまではなかなかできず、見て見ぬふりをしてしまいがちである。また、道端や自然の場所にまでごみは

落ちていく。そういう場合でも、他人まかせにせず、自らがまず行動に移すべきだと思う。そういう意識を全ての人が持つようになれば、一人ではできなかったこともできるようになり、今以上に箱根町は素晴らしい町になることができると思う。

木々の色が変化しはじめ、緑から赤や黄色になると、紅葉の秋である。私はこの季節が一番好きだ。色鮮やかに染められた山々は、とても美しく感動的だ。そして冬。何といっても箱根の冬は雪景色である。何もかも白く包みこんでしまう雪景色は、静かで厳かで、それでいて心が温かくなるような景色だ。小学生の頃は、よく雪遊びをするために校庭に出たものだ。今は雪遊びこそしないが、登下校で雪を踏みしめる度に心が躍ってしまふ。生活する上では、雪かきなど、大変な季節ではあると思うが、キラキラとした銀世界は、とても美しく、幻想的に感じる。このように雄大な箱根の自然は素晴らしいと思う。またこの環境で日々学ぶことができる私たちは幸せだと思ふ。

私たちの学校の生徒達は毎日、箱根登山電車を利用して。登山電車の車窓から美しい景色を見ると、心が洗われ、清々しい気持ちにさせてくれる。そんな登山電車の一部が新しくリニューアルされ、「アレグラ号」という新型車両ができた。もともと登山電車は、スイスのベルニナ鉄道を元に作られたものであったが、それを受け継いだレーティッシュ鉄道と、現在姉妹鉄道

私たちが学校の生徒達は毎日、箱根登山電車を利用して。登山電車の車窓から美しい景色を見ると、心が洗われ、清々しい気持ちにさせてくれる。そんな登山電車の一部が新しくリニューアルされ、「アレグラ号」という新型車両ができた。もともと登山電車は、スイスのベルニナ鉄道を元に作られたものであったが、それを受け継いだレーティッシュ鉄道と、現在姉妹鉄道

活できることの素晴らしさに感謝し、美しい箱根をいつまでも未来に残していけるよう努力していきたい。

「いつまでもはこねをきれいに」

湯本小学校2年

本間千博

私が大好きな自然あふれる箱根の景色。それらをいつまでも守り続けていきたいと思う。

おもてなしせいそうと山で、早うんこうえんまえからバスにのって、もとはこねこうまでいきました。せきしよまでいくまえに、すぎなみ木のあいだからあしのこが見えました。あしのこの水はちよっとだけ白色で、キラキラひかっています。そしてあしのこのおくのほうに、ふじ山が見えました。みずうみにはかいぞくせんやゆうらんせんがはしっています。ぼくは「今日は、晴れてよかったです!!」とおもいました。

ゴミをひろいながらせきしよにつきました。せきしよには、せつちんが二つあります。むかしの「トイレ」ということは「せつちん」と言うそうです。



一つ目は、足がばんしよせつちんです。足がばんしよせつちんは、足がばんしよせつちんです。もう一つは、上ばんしよせつちんです。それは、みずうみにちかいたところがあります。おやく人がつかったそうです。今のトイレとちがつて「ジャー」とながせないし、うんちはどこへながすのかなあとおふしぎにおもいました。もしかしたら、みずうみに近いからそこへながしちゃったのかなあ。でも、そんなことをしたらみずうみがたなくなってしまうんだな、きつとむかしも今みたいによごれないほうがあつてうんちをながしていたのかなあ、といういろいろかんがえました。

つぎにいったのは、とおみばんしよです。とおみばんしよは、あしのこにわいる人がいないかみはつていたところ。せきしよで二かい立てはこだけ。69だんのかいだんをのぼっていったら、ふじ山もあしのこ